2026 年 11月 9 日

各 位

会 社 名　人・夢・技術グループ株式会社
代表者名　代表取締役社長　野本昌弘
（コード番号 9248 東証スタンダード）
問合せ先　取締役副社長 経営企画担当　塩釜浩之
（０３－３６３９－３３１７）

# （訂正）「長崎県『長大橋維持管理事業』（第１期）を長大が代表企業を務めるSPCが受注」の一部訂正について

当社が2026年11月4日に公表いたしました「長崎県「長大橋維持管理事業」（第1期）を長大が代表企業を務めるSPCが受注」において、記載内容の一部に誤りがございました。関係者の皆さまにお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所を反映したリリース全文を次のページに掲載いたします。

| | |
|---|---|
| 訂正前 | 株式会社西海建設：維持補修業務、工事監理業務 |
| 訂正後 | 株式会社西海建設：維持補修業務、修繕工事業務 |

以上

2026 年 11月 4 日

各 位

会 社 名　人・夢・技術グループ株式会社
代表者名　代表取締役社長　野本昌弘
（コード番号 9248 東証スタンダード）
問合せ先　取締役副社長 経営企画担当　塩釜浩之
（０３－３６３９－３３１７）

# 長崎県「長大橋維持管理事業」（第１期）を長大が代表企業を務めるSPCが受注
## ～PFI-RO方式による複数離島架橋の維持管理は全国初の試み～

当社グループの株式会社長大（代表取締役社長：野本昌弘、本社：東京都中央区、以下「長大」）が代表企業を務める「長崎長大橋マネジメント株式会社」は、長崎県から「長崎県長大橋維持管理事業」（第1期）を受注しました。

この事業は、長崎県内の支間長200mを超える離島架橋を含む海上橋梁7橋のマネジメント、維持補修、点検・診断、詳細調査（診断）、補修設計、修繕工事および工事監理を包括的に実施するもので、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）に基づき、PFI-RO（Rehabilitate-Operate）方式※1で行う全国初の試みです。

長大は、株式会社大島造船所、エム・エム ブリッジ株式会社、株式会社西海建設とともに特別目的会社（SPC）「長崎長大橋マネジメント株式会社」を設立し、2026年7月～2031年3月31日までの5年間を第1期事業として、大島大橋と伊王島大橋を中心とした包括的な維持管理を着実かつ安全に実施するため、このほど事業に着手いたしましたので、お知らせいたします。



第1期事業の対象となる大島大橋

長崎県は、離島・半島の面積が県土の約7割を占めており、とくに島の数は、都道府県で最多の1479島[※2]にも及びます。そのため同県は、支間（スパン）が長く、しかも迂回路のない特殊橋梁形式の離島架橋を多く抱えており、それらを維持管理していくための高度な技術力とノウハウが求められています。当該事業は、こうした特性をもつ同県が国内で初めて複数の離島架橋の維持管理にPFIを導入し[※3]、民間のノウハウを活用して効率的・効果的な維持管理とライフサイクルコストの縮減を両立させ、これらの橋梁の長期使用を実現しようとする先進的な取り組みです。

他方、数多くの離島架橋を抱える長崎県は、世界有数の島国であるこの国の縮図ともいえる地理的条件下にあります。国内初のPFIによる当該事業は、これからの離島橋梁や、地域の持続に不可欠な数多くの橋梁の維持管理の在り方を考え、その一つの答えを導き出す、まさに"試金石"ともいうべき事業であると認識しています。このため、長大は長大を含む4社で構成するSPC「長崎長大橋マネジメント株式会社」（本店：長崎市旭町5番1号イーストコート203号、藤木剛代表取締役）を2026年5月18日付けで設立。当該事業の履行に向けた準備を終え、実務を開始いたしました。

長大は、国家プロジェクト「本州四国連絡橋児島・坂出ルート」の橋梁設計を担ったことを契機として創業した建設コンサルタントです。これまで国内外で数多くの橋梁架橋に伴う調査、設計、施工監理を担う一方、ご当地の長崎でも離島架橋の設計をはじめとしたインフラ整備を通じて、長崎の人・歴史・文化・風土への理解を深め、日々の暮らしの安全・安心と地域経済を支えてまいりました。

長大といたしましては、SPC代表としてこれまで培ってきた技術と、集積してきた人的リソースを当該事業へ注ぐ所存です。事業を履行する過程で得た知識、経験、気づきは、長崎県内の橋梁の維持管理は言うに及ばず、橋梁の維持管理をめぐる課題に向き合っている、すべての道路管理者のために役立てさせていただきたいと考えています。

■長崎県長大橋維持管理事業の対象橋梁（概要）

| 橋梁名 | 所在地（起点～終点） | 竣工年 | 橋長 | 最大支間長 |
|---|---|---|---|---|
| 西海橋 | 佐世保市針尾東町～西海市西彼町 | 1955 年 | 316．2m | 244．4 m |
| 伊王島大橋 | 長崎市伊王島2丁目～香焼町 | 2010 年 | 876m | 240 m |
| 若松大橋 | 南松浦郡新上五島町若松郷～若松郷 | 1991 年 | 522m | 235 m |
| 生月大橋 | 平戸市主師町～生月町 | 1991 年 | 960m | 400 m |
| 大島大橋 | 西海市大島町～西海町 | 1999 年 | 1095m | 350m |
| 鷹島肥前大橋 | 松浦市鷹島町～佐賀県唐津市肥前町 | 2009 年 | 1251m | 400 m |
| 平戸大橋 | 平戸市岩の上町～田平町 | 1977 年 | 884．6m | 465．4 m |

■SPC構成企業の業務分担

- 株式会社長大：マネジメント業務、点検・診断業務、詳細調査（診断）業務、補修設計業務、工事監理業務 https://www.chodai.co.jp/
- 株式会社大島造船所：維持補修業務、修繕工事業務 https://jp.osy.co.jp/
- エム・エム ブリッジ株式会社：維持補修業務、修繕工事業務 https://www.mm-bridge.com/
- 株式会社西海建設：維持補修業務、修繕工事業務 https://www.saikai-grp.com/

■注釈

※1 PFI（Private Finance Initiative）：事業の効率的な実施によるコスト縮減やリスク管理を目的に、民間資金と経営能力、技術力、ノウハウを活用し、公共施設の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法の一つ。当該事業に採用している「RO方式」は、民間事業者が既存の公共施設を改修（Rehabilitate）した後、維持管理・運営（Operate）を行う方式。特定目的会社（SPC）とは、特定のプロジェクトに必要な資産を取得・保有・運営することだけを目的に設立される法人のこと。

※2 長崎県の島の数：国土地理院が電子国土基本図を根拠として算出した、周囲長が0.1km以上の島の数。

※3 出展　長崎県道路維持課「長崎県長大橋維持管理事業公募型プロポーザル審査結果について（令和8年3月24日公表）」（https://www.pref.nagasaki.jp/fs/4/9/8/9/_/_____.pdf）

■本事業に関する問い合わせ先

人・夢・技術グループ　社長室　広報・IRグループ
メール：ir@pdt-g.co.jp

以上